

平成29年度  
地域日本語教育スタートアッププログラム  
【佐賀県嬉野市】

～事業の状況について～

## ■本事業に取り組む目的

日本語教育を通し、市内在住外国人も貴重な人材と捉え、彼らが当市の教育、防災、観光、そして経済の発展に寄与する多文化共生の町づくりを進めることを目的とする。

【地域日本語教育スタートアッププログラム事業計画書より】

### 目的設定の背景

訪日旅行ブームを背景に、当市への交流外国人は増加傾向にある。それに伴い、観光面での外国人受入体制は次第に整えられて来た。しかし、従来から暮らす在住外国人へはまだ十分に目を向けきれておらず、市民としての情報発信は十分とは言えない状況である。特に、災害時における在住外国人の避難体制確立は喫緊の課題であり、今回のプログラムを通して、当市独自の日本語教育体制を確立したい。

【地域日本語教育スタートアッププログラム事業計画書より】

## ■嬉野市の概要

✓ 総人口 26,695人  
【男性：12,505人 女性：14,175人】

✓ 外国人人口 169人 (0.63%)

✓ 主な在留資格  
技能実習49、永住者30、技術・人文知識・国際業務26、  
家族滞在7、日本人の配偶者等7

【平成29年12月末現在】

# ■平成29年度の取組

## 関係者会議（アドバイザー派遣）

回	日時	出席者	会議の目的・目標	会議の結果・アドバイス
1	5/28(日) 13:00～17:15	アドバイザー3名 コーディネーター2名 佐賀県 佐賀県国際交流協会 市役所担当者	・佐賀県内実施団体合同ミーティング	・関係者顔合わせ ・今後綿密な情報共有を
2	7/21(金) 9:30～12:00	アドバイザー1名 市役所担当者	・目的の確認	・教室の「嬉野スタイル」の確立を ・幅広い関係者の巻き込みを ・ヒアリングは本腰を入れての取り組みを
3	10/16(月) 10:00～16:00	アドバイザー3名 コーディネーター3名 市役所担当者	・嬉野市副市長表敬訪問 ・嬉野市内視察 ・目的の確認	・本プログラムを日本人と外国人の接触のきっかけに ・3年後の教室自立を ・本プログラムは「生活者」のための教育。「外客」のための教育ではない ・在住外国人へのヒアリング調査の実施を ・嬉野のテーマに合った関係機関の巻き込みを
4	1/12(金) 13:00～16:00	アドバイザー2名 コーディネーター3名 佐賀県 佐賀県国際交流協会 市役所担当者	・H29年度進捗状況の確認 ・多文化共生講座開催について ・H30年度事業計画の確認	・各種アドバイスに対してアクションを ・ヒアリング調査実施、それに基づくアクションプラン作成を ・在住外国人が恒常的に集まれる場所の確保を ・講座では本事業に継続的に関わってくれる人の発掘を
5	3/4(土)11:00～ 5(日)12:00	アドバイザー1名 コーディネーター3名 佐賀県 佐賀県国際交流協会 市役所担当者	・多文化共生講座開催 ・在住外国人へのヒアリング	・人との交流があり外国人が孤立しない町であることは他地域からの外国人移住を促進するためにも重要なこと ・嬉野市における本プログラムの意義を観光関係者にしっかりと伝え巻き込むこと

## ■アドバイザーの助言まとめ

- ✓ 幅広い関係者、関係機関（特に観光関係者）へ協力を呼びかけること（日本語教育事業の意味、ポイントを分かりやすく伝えること）
- ✓ 在住外国人の在留資格の把握後に市のテーマにあった戦略を早急に立てること
- ✓ 教室を在住外国人が自ら話す、聞く雰囲気交流の場にする
- ✓ 教室は在住外国人同士が出会う場にする
- ✓ 本事業をインバウンドに（嬉野市の目的に）つなげるためには、他地域から移り住む外国人が住みやすい町づくりに努めること

# ■平成29年度の取組

## ローカルミーティング (LM)

回	日時	出席者	会議の目的・目標	会議の結果・アドバイス
1	7/20(木) 16:00～17:30	アドバイザー1名 コーディネーター2名 近隣日本語教室関係者3名 市内在住外国人1名 (旅館関係者) 市役所担当者	・顔合わせ ・目的の確認	・本プログラムは生活者視点の日本語教育 ・事業3年目に教室が動いていればよい ・在住外国人に嬉野の良いところを聞き出してほしい ・東アジア人以外の外国人も受け入れる町づくりを
2	8/24(木) 16:00～17:30	コーディネーター2名 近隣日本語教室関係者3名 市内在住外国人1名 (主婦) 市役所担当者	・事業計画について ・人材発掘について ・在住外国人情報収集について	・まずは在住外国人が寄り添う「たまり場」を作ること ・嬉野に住む人の口から嬉野や九州の観光情報を聞きたい ・嬉野らしいコンテンツを含む教室に ・在住外国人へのヒアリングは行う必要がある ・在住外国人にもLMに参加してもらってヒアリングを行い、教室の方向性を決めてから核となるメンバーを決めてよい ・多くの市民にこの活動を知ってもらうためにもイベントは必要
3	9/20 16:00～17:30	コーディネーター3名 市内在住外国人1名 (主婦、観光関係者) 市役所担当者	・教室の内容について ・LMの充実について	・嬉野らしさを出しながら本プログラムを進めてほしい ・日本文化体験型の教室がよい ・子どもも一緒に参加できる時間、場所がよい ・LMの中心となる人探しを全員で行う

※ローカルミーティング(LM)は、本プログラムコーディネーターや市役所担当者に加え、近隣市町の日本語教室関係者や嬉野市民(日本人、外国人)を巻き込んだ、嬉野市日本語教室を立ち上げ・運営するための会議のこと

# ■コーディネーターの主な活動

## 時間

- ✓ コーディネーターA： 30時間30分
- ✓ コーディネーターB： 26時間30分
- ✓ コーディネーターC： 21時間

## 内容

- ✓ ローカルミーティングへの参加
- ✓ 他取組団体の活動紹介
- ✓ 人材発掘（紹介）
- ✓ 在住外国人へのヒアリング
- ✓ 在住外国人への日本語教育

# ■平成29年度の取組

## 日本語教室試行、多文化共生講座開催

回	日時	講師	受講者	場所	教室内容
1	12/21(木) 16:30~18:00	コーディネーター	在住外国人2名	嬉野公民館	・嬉野市について ・嬉野市のゴミの分別について
2	1/16(火) 16:30~17:30	コーディネーター	在住外国人2名	嬉野公民館	・日本の災害について ・災害時の対応について
3	1/30(火) 16:30~17:30	コーディネーター	在住外国人2名	嬉野公民館	・日本の風水害について ・嬉野市避難所について
4	2/20(火) 16:30~17:30	コーディネーター	在住外国人1名	嬉野図書館	・ヒアリング
5	2/27(火) 16:30~17:30	コーディネーター	在住外国人2名	嬉野公民館	・嬉野のイベントについて
6	3/4(日) 13:30~16:30	多文化共生センター大阪 県内国際イベント関係者	県内市民47名 (日本人、外国人)	嬉野市公会堂	・「嬉野発！世界に開く地域づくり」講演 ・国際フェスタ事例紹介 ・ワークショップ「安心・安全な町＝また来たい・住みたい町」
7	3/13(火) 16:30~17:30	コーディネーター 近隣日本語教室関係者 市民(元教師)	在住外国人3名	嬉野公民館	・緊急事態「火事」について
8	3/20 16:30~17:30	コーディネーター 市民(元教師)	在住外国人3名	嬉野公民館	・近隣市町へのアクセスについて

※教室試行は市内施設から日本語教室開催についての要望があり、在住外国人および人材の呼び込みの場と設定し試行。3/4講座開催以降、情報が広まり講師、受講者ともに拡大傾向

# ■平成29年度の取組

日本語教室試行、多文化共生講座開催



# ■本プログラムに係る目標および達成度

年度	目標	達成度	目標達成のために必要な調整
平成 29 年度	1.ローカルミーティングの開催、充実	・年度後半は開催することができなかったが、多文化共生講座を開催したことにより市役所とコーディネーターの意思疎通は取れた	—
	2.人材発掘、育成	・多文化共生講座を開催したことにより、候補となる人材が出てきた	—
	3.在住外国人へのヒアリング	・2月に10名しか実施できなかった	—
	4.ヒアリング調査に基づくアクションプラン作成	・ヒアリング調査が充実せず作成できなかった	—
	5.日本語教室試行	・人材、参加者を呼び込むきっかけとしての試行はできた	—
平成 30 年度	1.在住外国人へのヒアリング	—	・平成29年度開催の講座で得た情報または知人情報を基にヒアリング実施
	2.ヒアリング調査に基づくアクションプラン作成	—	・ヒアリング結果に基づく嬉野市に合ったアクションプラン作成
	3.日本語教室試行	—	・アクションプランに基づく場の設定 ・市民(日本人、外国人)が集う場の設定
	4.ローカルミーティングの開催、充実	—	・平成29年度に発掘した人材のコーディネーターへの就任
	5.人材発掘、育成	—	・ローカルミーティングへの発掘した人材の参加促進 ・日本語教室試行による発掘、実践
平成 31 年度	1.日本語教室試行	—	・平成30年度に設定した場の継続、充実
	2.ローカルミーティングの充実	—	・嬉野市日本語教室の意思決定機関としての充実 ・教室およびイベント開催部門の設置

## ■本プログラム実施団体名・担当部署名

✓佐賀県嬉野市

✓産業建設部　うれしの温泉観光課



Ureshino City Government